

平成30年1月6日

近畿本部衛生工学部会 第20回例会のご案内 (共催：環境研究会・第82回特別講演会)

近畿本部登録 環境研究会代表幹事 安カ川 常孝
近畿本部衛生工学部会 部会長 深田 晃二
協力：公益社団法人日本技術士会 近畿本部

第20回例会は、19回例会に引き続き環境研究会と合同で、産業廃棄物の不法投棄に関する話題提供を外部講師と会員にお願いして2題で開催します。

皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：平成30年1月27日(土) 13:30～16:15

講演1：13時35分～14時35分

テーマ：「産業廃棄物投棄が疑われる丘陵の地盤－けいはんな学研都市エリアを中心に－」

講師：中川 要之助 応用自然史研究室室長

1941年 京都市生まれ

1961～1973年 京都大学理学部地質学鉱物学教室在学

1975～2006年 同志社大学工学部、理工学研究所

2006～ 応用自然史研究室室長、環境計画センター副会長

NPO シンタンク京都自然史研究所、(一財)災害科学研究所研究員

概要：高度経済成長期の1960～70年代、建設資材に大量の砂礫が求められた。近畿から東海にかけての丘陵は山砂利と呼ばれる砂礫層からなり、コンクリート骨材に盛んに採取された。私の研究対象であるこの砂礫層は丘陵の地下にまで分布し、地下数10mも掘削され、その穴は建設工事で発生した土砂・瓦礫、時には産業廃棄物で埋め戻された。地質調査で見かけたこのような光景を、けいはんな学研都市エリアを中心に振り返る。

学会等：日本地質学会、第四紀学会、地震学会、応用地質学会、環境評価研究機構

専門分野：第四紀地球史、地盤防災、土地開発地盤評価

講演2：14時45分～16時15分

テーマ：「M学園事件に見る不法投棄地利用における廃棄物問題」

講師：鍵谷 司 技術士 (衛生工学、建設、環境部門)

1976年；(社)日本廃棄物対策協会関西支部事務長(厚生省認可)

1988年；環境計画センター 専任理事

1991年；鍵谷司技術士事務所開設

1993年～2015年；(環境大臣認定)産業廃棄物処理業の許可申請に係る講習会非常勤講師

現在；日本技術士会近畿本部役員、衛生工学部会副部会長、修習技術士支援委員会

概要：地下に廃棄物があることを理由に国有地が安価で売却されたことが社会問題になっている。2017年11月に会計検査院報告が公表されたが、その根拠は必ずしも解明されていない。当該事件を事例に不法投棄地における掘削廃棄物の取扱い、法規制や罰則等について解説する。

資格：技術士(衛生工学、建設、環境部門)、第一種放射線取扱主任者等

著書：

①共著；ごみ固形燃料化技術と導入事例～RDF施設整備計画から実現まで～

②共著；初学者向け 技術経営テキスト～実践向け例題付き～

場 所：アーバネックス備後町ビル 3 F ホール
地下鉄御堂筋線、本町駅 1 番出口、徒歩約 1 分
* 1 番出口から左(東)へ、最初の十字路を左(北)へ左側 2 軒目のビル

参加費：会員 1,000 円、非会員は環境研究会で申込み下さい。
ただし、環境研究会会員及び学生は無料です。

懇親会：講演会終了後、2 階レストランで懇親会を開催しますので併せてご参加願います。
(費用は 3,000 円程度)

お申込み (講演会と懇親会それぞれについて申込み下さい)
衛生工学部会 助宮幹事
guitars_cadillacs_etc@yahoo.co.jp

申し込み〆切 1 月 24 日 (水曜日) とします。

以 上

